



平成30年7月4日

## 稚内港に大型クルーズ船等寄港のための係船柱（ビット）が完成

～「稚内港末広地区クルーズ船等対応施設 供用式典」を開催します～

稚内市と稚内開発建設部は、稚内港末広地区東岸壁※において整備を進めていたクルーズ船等対応施設である係船柱（ビット）が完成し、このたび、係船柱（ビット）を使用する初めてのクルーズ船として、飛鳥Ⅱの寄港が決定したことから、下記により供用式典を開催いたします。

稚内港では、増加するクルーズ船の寄港需要や、クルーズ船の大型化に対応するため、平成28年度から既存岸壁を活用した大型クルーズ船の受入環境の整備を進めています。これにより、老朽化した岸壁の改良工事および、海上に係留ロープを繋ぐ係船柱（ビット）の設置が完了したところです。

本整備により、クルーズ船等の安全な係留が可能となり、クルーズ船等の受入を通じた地域の活性化が期待されます。

※稚内港末広地区東岸壁の事業概要は【別紙1】をご覧ください。

### 記

- 日時 平成30年7月27日（金）15：00～15：40
- 場所 稚内港末広地区 東岸壁（稚内市新末広町）
- 主催 稚内市、稚内開発建設部
- 概要 来賓祝辞、テープカットなど
- その他 取材を希望される場合は取材申込書【別紙2】にてお申し込みください。

#### 【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

築港課 課長

たかはし けいじ  
高橋 啓司

電話 0162-33-1055

築港課 上席築港専門官

まつだ なりひさ  
松田 斉久

電話 0162-33-1161

稚内開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit\_hkd\_wk

稚内市 建設産業部物流港湾課 主査 うえはら いちろう  
上原 一郎 電話 0162-23-6482



# 稚内港末広地区 東岸壁 事業概要

## 事業の目的と効果

- 国土交通省では、訪日外国人の急増に伴うクルーズ船の寄港需要の急激な増加や東アジアへの大型クルーズ船の配船隻数の増加に対応するため、既存岸壁の改良等を実施。
- 末広地区東岸壁において、クルーズ船の大型化及びサハリンプロジェクトに関わる作業船・調査船等の係留に対応するため、平成28年度から、岸壁の老朽化対策並びに係船柱(ビット)・橋台・連絡橋を整備。
- 平成30年7月27日、係船柱(ビット)を使用する初めてのクルーズ船として、飛鳥Ⅱが入港。

## 事業概要

事業費	7億円
事業期間	平成28～30年度
施設名	岸壁 (-12m)
延長	係船柱を含む総延長 360m

## 供用式典 寄港船舶



### 飛鳥Ⅱ

#### <船舶諸元>

総トン数	50,142トン
船籍	日本
全長	241m、全幅29.6m
旅客定員	872名

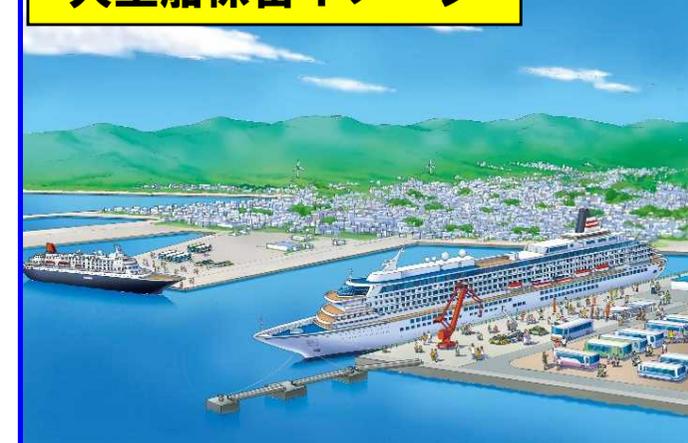
## 式典会場



## 現地状況



## 大型船係留イメージ



申込先(FAX) 0162-33-1047

『稚内港末広地区クルーズ船等対応施設供用式典』

取材申込書

取材を希望される場合は、本申込書により、FAXにてお申し込みください。

申込期限は、7月26日(木) です。

申込日：平成 年 月 日

会社名 及び 部署	
取材者名	
連絡先 (TEL)	

※ご記入いただいた個人情報は、本式典以外の目的には使用いたしません。